

令和元年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 1 人	2 人	0 人	1 4 人

前回の改善計画

もっと利用者さんと家族さんに密に関わり、顕在化した問題だけに対応するのではなく、潜在的な悩みや不安、不満等を気軽に話し合えるような関係作りを行って。その中で、解決できる問題には迅速に対応し、長期に渡り解決が難しそうな問題については、適宜状況を確認しながら、少しでも不安を和らげる声掛けやサービス調整が行えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

スタッフみんなで、利用状況だけでなく、一対一で会話した時の内容以外に、表情や口調等も気にしながら対応させて頂きました。また、家族からの情報や暫く慣れるまでの間の自宅での本人からの訴えや家族の意見等も取り入れながら、少しでも早く慣れ、楽しく利用できる様、ミーティング以外でも申し送りノートや口頭で伝達し、安心して利用できる様、対応を心掛けました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	1 1			1 4
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	1 0			1 4
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	1 2			1 4
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	1 2	1		1 4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

前回同様、申し送りノートや利用者情報シートで少しでも早く的確に利用者の状況をスタッフ間で共有し、初回利用日から利用者さんに対しスタッフが少しでも不安なく対応でき、会話や対応がスムーズに行う事が出来ました。家族とも交流を持ちながら、少しでも自宅との生活のギャップをなくすための相談やケア内容の調整が出来ました。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族が望むサービス内容と利用者さん本人が望むサービス内容に差があると、中には家族の意見が優位に立ち、利用者さんが望むサービスが提供できていない事がありました。利用者さんの望むサービスを基本にしつつ、家族さんもサービスの協力者としての役割を持って頂き、利用者・家族・サービス事業所とが相互に協力し合いながら、望むサービスが受けられるようにする必要があります。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

初期支援では、サービス利用に至るこれまでの生活の経緯や家族の介護状況等を把握した上で、安心して受けられるサービスの調整を行っていく事が大切です。利用者さん本人の意向と家族の希望を明確化し、目指す到達目標が一つになればみんなで並走し、ずれがある場合は随時修正しながら、家族も一緒に到達目標に向け協力できるようにし、その情報をみんなで共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画	輝きシートについても、出来るだけ見直しながら内容に変化があった場合には毎月のミーティング等でも共有し、活用を場を定期的に設けていくようにする。今までみんなが個々に記入した輝きシートの内容についても、ミーティングやカンファレンスで改めて共有し、必要があれば修正や追加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	輝きシートについてはやはりなかなか追記する事が難しい為、毎月のミーティング時に、本人の希望や要望、生活に対する意向を確認する為、カンファレンス用紙にサービスに対する意向などの項目を作成し、毎月担当者が個々のケア内容について具体的な要望や希望を確認するようにしました。前回のミーティングから変更があった場合にはみんなに知らせ、共有する事で統一したかわりを持って、自己実現に向けたサービス提供が出来るようにしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		8	6		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		11	3		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11	3		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		10	4		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人がどのような生活を望んでいるのか、何を希望しサービスを利用しているのかを明確にしながら、出来る限り本人が望む理想の生活に近付けるようにミーティングで検討しています。次回のミーティングまでに検討した具体的なケアを実施し、その評価が出来るようにしています。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用が長期化すると、なかなか日常生活の変化も少なくなり、毎月同じような希望や要望が続き、サービス内容としては「現状維持が出来る支援」として、同様の計画内容となる方が多くなっています。前回のケア内容に対する評価も、達成出来たか出来なかったかの評価に止まってしまい、同様のケア内容で継続しがちとなっています。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者さんとの会話の中で、テレビや新聞広告等で美味しそうな食べ物を見た時、「美味しそうね」「食べたいね」「きれいだね」「行ってみたいね」等の声が聞こえます。普段の日常会話から、何気なく出た言葉や表情・口調等から読み取り、毎月のミーティングで共有し、少しでも個々の希望する生活が送れる様、具体的な援助の方針を検討していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 2 人	1 人	人	1 4 人

前回の改善計画
 利用期間が長くなった利用者さんや、徐々に身体機能の低下している方、認知症状が進行している方についてつい“歳だから”、“病気だから”「仕方がない」と決めつけしないで、新たな可能性を常日頃から探し続けられるようにしたい。輝きシート同様に出来る事をどのように継続していくのかを、カンファレンスの中でも検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 毎月ミーティングで、利用者一人一人担当者が1ヶ月中の心身の様子やケア内容について評価と具体的なケア内容について見直しを行っています。やはり生活状況や健康状態も安定している方については、つつい現状を維持する為の継続したケア内容に傾きつつあります。なかなか新たな発見やケア内容の見直しの難しい方については、引き続き毎月担当者を変更しながら、色々な目線で観察できるようにしていきたいと思ひます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	7		1 4
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9			1 4
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	8	3		1 4
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8			1 4
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	8	1		1 4

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 日常のかかわりの中で、どうしても出来なくなった部分に注意がいきつてしまい、徐々に介助の手を増やしがちとなっていますが、出来なくなった部分以外に出来る部分がたくさんある事に気付いてもらい、少しでも生活意欲が低下しないような働きかけが出来ればと思ひ、残存能力について探す機会を増やしました。そうする事で、「まだ自分は出来るんだ」という意欲が向上し、笑顔が少しでも多く見られるようになりました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 事業所内でのケアについては、慎重に、安全に安心して過ごして頂けるような方法を検討していますが、なかなか自宅での生活が、家族の介護力と意向、本人の在宅生活の様子等を考慮していないと、転倒や誤嚥等の危険が増加し、気が付いた時には重篤化している事があります。改めて自宅での生活方法の見直しを行わなければならない事がありました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 事業所内だけのケアにならない様、自宅での生活状況・介護状況等も把握し、施設・自宅・本人・家族・スタッフが共同して一体的なケアが出来るように調整が必要だと思ひます。家族も自宅での生活以外に、施設での生活も見学してもらったり、お便りや電話・訪問や口頭でも伝えながら、自宅外での生活状況も把握して頂く必要がある。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 田坂 恒輝 ・ 越智 譲二 ・ 今岡 由美 ・ 相原 ゆかり ・ 越智 多恵子
村上 かおり ・ 藤原 亜矢 ・ 大内 美知 ・ 藤原 梨絵 ・ 矢野 美佐加
松田 友子 ・ 木村 淳躬 ・ 川崎 兼次 ・ 國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	6 人	人	14 人

前回の改善計画
まずは利用者さん本人にとっての“地域”の範囲や重要性等を再確認し、参加や見学に行きたいと思う気持ちに沿った支援が出来るようにする。逆に無理に「仕方なく」と無理強いせず、昔のつながりや利用者さん本人の性格や人間関係等も考慮しながら、今まで行っていた地域との付き合いを継続出来るように、地域の方々とも関わりが持てるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所主催の夏祭りやクリスマス会、時季に応じた地域行事への参加やサロン活動はもちろん、出来る限り住み慣れた地域での行事へも見学や参加する事で、少しでも慣れ親しんだ地域へ関わっていると実感して頂き、地域の方々とも継続したかわりがある様に対応させて頂きました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	4		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	5		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	8		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	8	5		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
前回同様、個別にサロン活動へ参加を支援したり、地域行事には出来るだけ参加し、少しでも地域の一員である事を自覚して頂いたり、逆に地域の方が避難訓練やお祭り、お餅つき等の行事に来所され、一緒に協力頂く等の交流事業も行っています。また冠婚葬祭や家族間での行事へも可能な限り参加のお手伝いをさせて頂いています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者みなさんで移動したり、行事へもみんなで行ったりしていますが、個々の希望を取らず参加しています。もしかすると参加したくない方もいらっしゃるかもしれませんので、引き続き本人の希望を確認しながら、個々に参加できるように対応していきたいと思えます。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今まで、自宅でサービスを受ける前に行っていた地域行事やイベント等への参加や、ひとりひとりの意向を確認しながら、本人が望む「地域」への参加が継続出来るよう支援する為、もう一度サービス利用前の地域との関わりについて再確認し、現在でも参加できそうな行事やイベントについては、出来るだけ参加できる様支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	6 人	4 人	1 人	12 人

前回の改善計画
引き続き、利用者さん本人の意向を基本に、生活状況や介護状況を常に確認しながら、必要なサービスを必要な量だけ、いざという時には迅速に対応できるような体制を常に確保していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
スタッフみんなで、送迎時や訪問時に本人の心身の状況や生活状況、家族の介護状況や介護にかかる負担等を確認し、利用者・家族の望む生活が継続できる様、「通い」「訪問」「泊り」サービスを柔軟に組み合わせながら、安心して在宅生活を送れる様調整させて頂いています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	9	3	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	5		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		7	7		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	5		14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者さんの生活環境や今までの生活状況を考慮し、必要なサービスの調整を行う事は出来ました。柔軟に本人や家族の希望に合わせてサービスの量を調整したり、時に優先順位を確認しながら、他利用者さんにも可能な限り予定変更をして頂き、利用者・家族みんなで協力し合いながらサービスの調整を行う事が出来ました。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
通いや泊りの回数や時間帯など、つつい家族の意向に流されてしまい、本人の意向を確認する事が出来ない時があります。また、本人や家族が体調不良の時や、用事があった時、いざという時の対応が柔軟にできない事がありました。利用回数等については、生活状況や介護状況に合わせて調整しているが、介護度別にみると偏りがありました。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
前回同様、利用者本人の意見や意思を優先し、家族・介護者の意向を考慮しながら、必要な量のサービスが安心して受けられるように支援していく必要がある。いざという時に柔軟な対応が出来る様、普段からの利用者・家族との信頼関係を築き、何でも相談し合える関係性を作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	人	人	14 人

前回の改善計画

もっと気軽に足を運んでもらえるよう、引き続き地域合同避難訓練や夏祭り等のイベント時には、施設内を見学して頂いたり、支部便りやもっと地域の方へ事業所の紹介や役割を発信していくようにする。
今後も、他サービス機関とも定期的に、また必要時には随時担当者会議を実施し、迅速に対応できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

常にパンフレットでは年中見学自由とし、夏祭りやふれあいフェスタ開催時には、施設内の見学も自由に行って頂いています。地域のお便りにも、日頃の様子をお知らせしたり、事業所としては、ゴミ拾いウォーキング等も行い、地域の方々の役に立てるような活動を行っています。地域ケア会議には積極的に参加し、常に各関係機関で共同して情報共有が出来る様心がけています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	7	3		14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	4	5	3	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4	7	3		14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	6	3		14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域ケア会議には必ず参加し、毎年定期的に近隣の方々や民生児童委員、駐在所、地元消防団、市役所職員の方々にも協力頂き、消火避難訓練を実施しています。また、夏祭りや元気ふれあいフェスタ等で地域の方々に自由に施設内を見学頂いたり、普段からインターネットやパンフレット、お便り等で見学案内や日頃の生活の様子をお知らせし、地域の方々に知って頂けるような働きかけを行っています。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

今の所、定期的な地域ケア会議やイベント時に認定こども園、小・中・高校生、老人クラブ、ボランティアの方々に来てくれています。引き続き色々な方々の関わりが継続できる様にしていきたい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

今の状態が継続できる様にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

7. 運営

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	5人	人	14人

前回の改善計画
引き続き、誰でも気軽に訪れ、相談できる事業所である様、機会があれば外部に情報を発信し、外部評価結果なども有効に利用し、事業所を少しでも知って頂けるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
引き続き色々な行事やイベントへ参加したり、夏祭りやふれあいフェスタの開催場所として、自由に見学したり、お便り等で地域の方々に日頃の様子を伝えながら、少しでも事業所を知って頂けるようにしました。運営推進会議での参加者からの意見を参考に、サロンへ参加をすすめたり、見学会などで率直な意見を聞かせて頂きながら、少しでも地域に根付いた事業所を、スタッフみんなで目指しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8	5		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	12			14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		11	3		14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	11	2		14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所全体で、無駄を省き、誰でも気軽に立ち寄れる環境作りをする為、ミーティング等で運営についても検討する時間を設け、対策を行っています。利用者や家族からの感想や、年に最低 1 回はアンケート調査を実施させて頂きながら、率直な意見をお伺いしています。内容についてはスタッフ全体で共有し、迅速に改善できる内容については改善させて頂いています。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今の所、利用者や家族から運営についての苦情や意見は聞かれていません。ケア内容についての不安や不明な部分については、確認が取れ次第、直接お伺いし相談させて頂いています。迅速かつ的確に対応できる様、スタッフみんなで情報共有と対策について検討を続けたいと思います。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
引き続き、利用者・家族・地域の方々からのご意見を頂きながら、改善点については迅速かつ丁寧に対応し、皆さんに喜んで利用して頂けるように対応していきたいと思ひます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	2人	人	14人

前回の改善計画	介護の現場で苦手とする内容や不得手な技術等について、自己で再確認しつつ、研修を通じてスキルアップが出来るように、今一度確認を行う。引き続き、ヒヤリハットや簡単ハットについて、気になった事は記入し、毎月のミーティングで検討し、利用者さん個々のリスク管理を徹底して行い、安全に安心して過ごして頂けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	自己のスキルアップの為、年間研修計画を立て計画的に研修に参加して頂いています。研修後は忘れないうちにミーティングで伝達研修(自分が学んだ事を他スタッフに伝える)を実施し、より研修が有意義に自己のスキルアップにつながる様にしています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	8	2		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	7	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	5	3	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修では、事前にスタッフに学びたい内容を確認し、その内容に沿った研修に参加しています。内部研修では都合で参加できなくても、資料を配布し、内容についてミーティングで確認した後に、研修内容に対する感想や所感を記入し提出してもらいながら、知識と技術の向上に努めています。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 昨年同様、地域連絡会等については開催されておらず、参加の実績が無い。リスクマネジメントについて、サービス提供場所に応じたリスク管理も必要であり、事業所内でのリスクマネジメントについては取り組んでいるが、自宅でのリスクについては家族に任せきりの所もある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 実際のサービス提供場所だけでなく、自宅や外出先、その他サービスの範囲外でも、様々な場面を想定したリスク管理も必要で、可能な限り本人の生活全般におけるリスクマネジメントの実施を行う必要がある。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 25 日 (9 : 00 ~ 11 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 田坂 恒輝・越智 譲二・今岡 由美・相原 ゆかり・越智 多恵子
村上 かおり・藤原 亜矢・大内 美知・藤原 梨絵・矢野 美佐加
松田 友子・木村 淳躬・川崎 兼次・國貞 知子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	2人	人	14人

前回の改善計画	<p>親近感と信頼感を間違えないように、利用者さん・家族さんに対する言葉遣いや対応について、常に介護事業所職員として、わきまえた言葉がけや対応を心がけ、安心してサービスが利用できるようにする。また親身に寄り添える距離を保ちながら、「困った」に直ぐ対応できるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>出来るだけ、友達言葉や利用者の呼び方に気を付け、対応していましたが、つつい馴れ合いからちゃん付けや愛称で呼んでしまう場面も見られた。利用者本人も愛称で呼ばれた方が嬉しそうに対応されることもあるが、本心については見えない部分でもある為、親しき仲にも礼儀ありの精神を忘れず、尊敬と敬意を払った対応が必要だと思えます。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4			14
②	虐待は行われていない	10	4			14
③	プライバシーが守られている	8	6			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	3	2	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	4			14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>定期的に身体拘束・虐待防止に対する研修に参加し、ミーティングでも頻回に利用者さん・家族さんのプライバシーの確保について徹底して行う事が出来ているかどうかの確認が出来ています。身体拘束・虐待ゼロに向けて、併設のグループホームで行われている、「身体的拘束等適正化のための対策検討委員会」へ一緒に参加し、第三者からの評価や助言をもらっています。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>昨年同様、日常の声掛けや、普段の交流が少し慣れてくると、言葉遣いが友達言葉になってしまったり、「ちゃん」付けや愛称で呼ぶ等の対応をしている時がありました。権利擁護について身近に該当者が無く出来ないスタッフも多かったのですが、定期的に研修に参加し、成年後見制度や福祉サービス利用援助事業など、権利擁護にかかわるサービスの利用について、迅速に該当者について見極め、何らかの対応が行えるよう、必要な知識や技術が必要となる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>権利擁護について、内部・外部研修へ参加し、制度の理解と、身の回りの方々に該当者がいる場合、的確なアドバイスが出来るようにする。他研修同様、ミーティングで伝達研修を行い、スタッフみんなで知識と技術の習得を図る。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	会長 長野 和幸	法人・ 事業所 の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開業当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	田坂 恒輝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	6人	0人	0人	1人	4人	1人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・地域のかかわりシートで、判断に迷う箇所があり、“分からない”という回答があった為、事前その迷う箇所を重点的に説明し、回答に迷わない様にする。	・事前地域のかかわりシートについて、各項目の質問の内容について、運営推進会議の場を借りて説明をしながら、その場で率直な意見を確認させて頂く予定としましたが、Mpa-さんが新しくなり、十分事業所の紹介や報告ができず、次回運営推進会議まで持ちこたえて頂く事になりました。	・運営推進会議が一新になり、十分事業所を知って頂く前に地域のかかわりシートへの記入をお願いしてしまいました。結果、回答に困ると言う意見が聞かれ、12月に事業所の見学をして頂き、年間行事報告等を確認頂きながら、次回運営推進会議の時まで地域アンケートのお願いをしました。	・もっと早めに地域のかかわりシートをお願いし、まずは事業所を見て頂き、日頃の様子については行事報告や事業所の状況報告などを参考にし、できるだけイベントや行事に参加頂き、実際見て感じて頂き、各項目について、分かりにくい項目については、次回の運営推進会議で確認できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・来所者に引き続きアンケート調査を実施したり、定期的な家族にもお願いし、率直な意見を確認しながら頂いた意見を見直し、随時改善していく。運営推進会議を利用し、もっと事業所を見て知って頂く。	・利用者さんや家族さんにアンケート調査を行い、率直な意見を頂きました。また、見学者や来所者に対しても、口頭で感想や意見を聞いたりしながら、教えて頂いたご意見やアンケート結果からは、「何となく落ち着く」「気持ち良く行く事が出来る」等の意見を頂き、改善点や不快感等は今の所聞かれていません。今後もアンケート調査や面会・見学時に、意見を聞き必要な場合は早急に改善できる様になりたいと思います。	・以前利用していたデイサービスでは、とても一生懸命かかわってくれありがたかった。色々な所へ連れて行って来て、楽しく過ごす事が出来たが、小規模でどのような事を日中しているのか？	・運営推進委員さんへも、行事やイベントへの参加はもちろんだが、自由に来所頂いたり、運営推進会議の場を利用し、見学して頂く回数を増やすなどしながら、率直なご意見を聞き、改善につなげていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・住み慣れた地域でのサロンや集会、行事やイベントに利用者さん本人の意向を確認しながら参加し、地域の方々や本人・スタッフを含めて交流を持つ事で、事業所を知って頂く機会を作っていく。	・夏祭りや元氣ふれあいフェスタ、餅つきや各コンサートを開催・参加し、利用者・家族、地域の方々、スタッフも含め地域の方々との交流の機会を持つことができました。自由に見学や内容を地域へ発信することで、事業所を知って頂くきっかけとなりました。	・口総地域にも秋祭りには施設へ訪問している。色々な行事やイベントを把握し、参加するスタッフは大変だと思うが、事故等には十分気を付けて対応してください。	・もっと地域の方が気軽に訪れる事ができ、交流や相談に来るなど、事業所が地域の交流の拠点や相談窓口になる事が出来るようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・ひとりひとりの利用者さんにとって、住み慣れた地域での役割や居場所等と関わりが持てる様子、スタッフも地域の方々や積極的に関わっていく。地元で開催されているサロンや行事、本人の意向を確認しながら、希望する所へは自由に参加できる環境を作っていく。	・ドライブや地域行事への参加について、できるだけ利用者さん個々で住み慣れた地域への参加の希望を確認しながら出来るだけ希望に添える様、行事やイベント等に参加しました。利用者さんによって、どこにも行きたくない人もいれば、地域を問わず、外に出かけることが楽しみな利用者さんもいて、別行動となってしまう事もありましたが、参加する事で慣れ親しんだ風景を見て、色々昔を思い出したり、近隣の方々や友人・知人等、知合いの方々との交流する事が出来ました。	・事業所へは色々なサービス内容があるが、そのサービスも様々な視点から利用者さんや在宅生活での様子を把握することができる為、色々な情報から本人の暮らしを把握してほしい。	・地域の行事やイベントだけでなく、利用者さん一人一人が今まで地域を担ってきた役割を改めて確認、理解し、在宅で今まで当然のようにできていたお墓参り、お祭りへの参加、サロン活動や近所の方々との交流等も継続できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・福祉関係者以外の有識者や引き続きボランティアの方々等に参加頂いたり、Mpa-の方からも運営推進会議のあり方について相談し、有意義な会の進行が出来る様にする。	・Mpa-の皆さん、事業所の状況報告や行事報告等時間が経過してしまいい、なかなか固定Mpa-以外の方々に参加頂く事はできませんでした。地元駐在所、消防署、学校や各ボランティアの方々など、直接福祉と関係のない有識者からの意見も聞けるようにしたいと思います。	・事業所のサービス内容やそもそものような介護サービス事業所なのか分からないため、詳しく事業所のサービス内容などについて教えてほしい。	・次回(4月)の運営推進会議で、大三島事業所のサービス内容(デイサービス、グループホーム、小規模多機能型居宅介護)の説明を行い、サービス内容について理解して頂き、その後の色々なイベントや行事へ参加して頂きながら、指導や助言を頂くようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	・先ずは災害時の対応マニュアルについて説明し、引き続き消防訓練等は参加して頂く。他の自然災害時の訓練も随時実施しながら、同様可能な限り参加頂き、一緒に対応について検討していく。	・毎年、2回/年の消防訓練の実施に加え、5月に集中豪雨による浸水被害を想定した避難所への避難訓練、8月に南海トラフ地震による津波被害を想定した図上訓練(DIG)等を実施しました。反省会を通じ次回開催に向けての課題をクリアできる様、毎年繰り返して訓練を実施していこうと思っています。	・災害の種類によっては、被害状況が予測されます。自然災害は予測通りにいかませんが、市や県が予測している規模の災害は起きることを想定して、対策を行ってください。	・本年度から福祉避難所としての指定を受けました。今後災害発生時、災害備品や備蓄品等の備えを確実に実行していく為、最低でも宿泊定員(5名)+2名の計7名、3日分の備蓄品の確保を行い災害発生時に備え、利用者・家族へも連絡する。